

心に残る文化財子供塾 浜田市立原井小学校

平成 27 年 6 月 11 日（木） 2～4 校時

1. 活動の概要

6 月 11 日（木）、浜田市立原井小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに埋蔵文化財調査センター職員から浜田市内の遺跡、玉の歴史などの説明を聞きました。じっさいに遺跡から出土した玉の完成品や道具類をみながら、古代人の技術、苦勞を想像しました。古代人の衣装の説明に合わせて、「古墳時代人」に扮した担任の先生が登場し、子供たちを沸かせました。

体験学習は、勾玉を作りました。できた勾玉と古代衣装を着て、古代人のおしゃれ心にふれました。学校から帰ってからも、自分が納得のいく玉を求めて製作をつづけた生徒さんもいたとか。

2. 活動のようす



担当者の説明



「石の道具も鉄の道具も駆使しているね」



「しっかり磨き続けて、光らせるんだ」



見た目も心も古代人になった瞬間

3. こども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・ただの石に見えるものが、磨いていくうちに光っていくのが心に残った。落としたりしてなかなか光らなかったけど、家でもみがいたら光を反射するくらいになった。青色をつけてオリジナルにした。
- ・みどり色や赤っぽい色に挑戦したいです。

2) 担任の先生から

- ・勾玉づくりは魅力的で、子供たちは集中して取り組むことができた。時間があつたので、ピカピカにするまでできた子もいる。

3) 埋蔵文化財調査センターから

- ・ひたすら磨き続けるという、根気の要る作業でしたが、皆さんすごい集中力で取り組んでいたの
で、圧倒されるようでした。家に帰ってから違う色に塗ってみたという熱心な生徒さんもいたの
がうれしいですね。

古墳時代の衣装を着て、普段の授業のときとは別人格になって登場された担任の先生も見もの
でした。

遠くまでいけるようになったら、授業で紹介した遺跡も思い出して、行ってみたいですね。